

平成22年度

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間ルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間ルート	報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間代表 野村 文吾	2011/3/31
--------------------------------	-----------------------------------	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で 有数の観光客を集客するために、基本となる十 勝人の歴史や十勝のスウィーツについて学び、 ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを 実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そ して、これらを基に魅力あるモデルルートを設定 し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行 う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニ ケーションを充実させていく。	連携・体験事業	1	トカプチめぐり券	トカプチ雄大空間	平成22年7月10日～ 平成22年9月30日	86人	A - 1	チケットの販売箇所を参加店舗のみにしてい たことから、来年度はコンビニやエージェン トなどへも検討し、販売枚数を増やしたい。周 知活動も検討。
		連携・体験事業	2	トカプチミステリーツアー	トカプチ雄大空間	平成22年11月23日	30人以上	—	ルート団体の他、現在育成中のライフコンシェ ルジュの参加もあり、改めて地域を回ること によって、新しいトカプチの魅力再発見に繋が った。
		連携・体験事業	3	トカプチスタンプラリー(冬季)	トカプチ雄大空間	平成22年12月18日～ 平成23年3月31日	約30人	A - 2	来年度は夏の観光シーズンに向けてQRコー ドスタンプラリーと連携した実施内容を予定し ている。
		連携・体験事業	4	十勝シーニックバイウエイ QR コードスタンプラリー	十勝シーニックバイウ エイ	平成23年1月6日～ 平成23年3月31日	—	—	今年度は冬期に開催したが、来年度は夏の 観光シーズンに実施を予定している。また、地 域をよりPRできるような内容も検討する。ま た、専用のHPの開設も検討。
		発信事業・プロモーション事業	5	プロモーション活動(YOSAKOI、 花火大会、その他)	トカプチ雄大空間	平成22年6月～10月(夏 期)	—	—	各イベントでのPR事業は、シーニックバイウ エイの名前周知や活動のPRのためにも今後も 実施していく予定である。
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美 しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤 去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を 通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進め る。また、十勝シーニックバイウエイ3ルートが連 携し、巡る楽しみを創出する。	連携・体験事業	6	トカプチフォトコンテスト	トカプチ雄大空間	平成22年6月14日～ 平成22年10月29日	応募60点	—	次年度は、実施の可否を含めて検討すること としている。
		連携・体験事業	7	十勝シーニックバイウエイ カフェ スタンプラリー	十勝シーニックバイウ エイ	平成22年8月1日～ 平成22年9月30日	全制覇人数 は80人	—	全箇所制覇した参加者も多かったことから、 来年度も継続して実施することとしている。
地域づくり	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環 境などの情報を、自信を持って発信できる地域 づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上さ せ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域 間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民 との連携強化による人づくり・街づくりを推進す る。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発 を目指す。	癒とりフェスタ事業	8	癒とりフェスタ	トカプチ雄大空間	平成22年9月～ 平成23年3月	全体事業で 延べ100人 以上	A - 3	短い期間の中で多くの事業を実施するた めに、関係機関はもとより、ルート内のメンバ ーで連携を図り、十勝の魅力をPRすることが できた。 来年度は道央圏を対象に実施していく予定。
		3ルート連携事業	9	富良野視察(研修会)・連携フォー ラム	十勝シーニックバイウ エイ連携フォーラム実行委 員会	平成22年9月22日 平成22年12月4日	30人以上 250以上	—	ルート内外において「シーニックバイウエイ」の 取り組みがまだまだ周知されていないことか ら、引き続き取り組みを行うこととしている。 来年度の研修会は釧路ルートとの連携を検 討。
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環 境美化、カーボンオフセットの推進による環境 の改善など、環境モデル都市・エリア実践のため の連携を強化し、環境に関わる新産業による就 業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	3ルート連携事業	10	十勝シーニックバイウエイ連携事 業 :イエローリボンプロジェクト	とかちイエローリボン プロジェクト実行委員会	平成22年6月1日～ 平成22年10月29日	—	—	低炭素社会の推進、地域への取り組みの周 知、観光振興事業として、引き続き組み 組みを進めていく。

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

TP - 1

活動名：トカプチめぐり券 ～十勝中央部の見所＆おいしいものをいっぺんに楽しもう♪～

【概要】 シーニックバイウェイ北海道指定ルートに認定されたことを記念して、地域の皆様にトカプチ雄大空間へのご理解と認識をした。十勝中央部の見どころ、おいしいものを一度に楽しんでもらえる「めぐり券」となっている。

【日時】 2010（平成22）年7月10日（土）～9月30日（木）

【場所】 トカプチ雄大空間エリア

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【参加人数】 販売枚数：86枚（一般販売）、そのうちサービス券利用：218枚

お得な割引チケット 霧別町／まくべついちご園 中川郡霧別町中川143番地 電話0155-55-3315 入園料1割引	お得な割引チケット 池田町／ボーヤ・ファーム 中川郡池田町字満月224番地1 電話0155-572-2127 シードッグショー300円	ばんえい十勝・入場料サービス 帯広市／ばんえい十勝 帯広市西13条南9丁目 電話0155-34-0825 入場無料 （土・日・月のみ）	スイーツサービス施設 下記よりお選びください 喜更町／様月スイートピアガーデン 宗谷郡喜更町字下喜更北3線西18-2 電話0155-53-5365 十勝この実1個 帯広市／とち物産センター 帯広市西2条南12丁目エスタ東館2階 電話0155-22-7666 カップソフト1個 池田町／まきばの家とびつひの丘カフェ 中川郡池田町満月144 電話0155-572-4371 塩あずきのかぼちゃコロカケ1個 芽室町／手造り菓子の店 こばやし 河西郡芽室町本通2-3 電話0155-62-2738 ソフトワッフル1個	フード・ドリンクサービス施設 下記よりお選びください 帯広市／北の屋台 帯広市西1南10-7 電話0155-23-9194 ビール1杯 豊頃町／豊頃物産直売所 豊頃町立花 電話0155-574-2206 ミニホッキカレー1杯 池田町／まきばの家とびつひの丘カフェ 中川郡池田町満月144 電話0155-572-4371 コロカケバーガー1個 芽室町／新嵐山荘 レストラン 河西郡芽室町中東生2線42 電話0155-65-2121 ミニコーン炒飯1杯	利用サービス施設 下記よりお選びください 帯広市／真鍋庭園 帯広市稲田町東2-6 電話0155-48-2120 お一人様ご入園 帯広市／紫竹ガーデン 帯広市栄町西4線107 電話0155-60-2377 お一人様ご入園 帯広市／百年記念館 北海道帯広市緑ヶ丘5 電話0155-54-5352 お一人様ご入館 喜更町／十勝川温泉 ●お風呂 ●お食事 ●お土産 ●お風呂 ●お食事 ●お土産 選べる入浴（お一人様） 15分～20分お風呂の時間があります
--	---	---	--	--	--

～十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間とは～
 「自然の恵みと人の営みが調和する開拓大地」をキャッチフレーズに、十勝の十勝中央部の白の市町村（帯広市、喜更町、芽室町、霧別町、池田町、本別町、豊頃町、浦幌町）での観光施設や街づくりの団体で構成、ルート内の各施設や見どころを「あちこち」でつなぐことから十勝型産業の振興と人口増加をめざし活動を行っています。今後は地域振興としてのコミュニティビジネスの創出をめざし、継続的に事業を進めてまいります。今回、シーニックバイウェイ北海道指定ルートに認定されたことを記念し、一般市民の皆さまへこのルートに理解と認識を高め、多くを体験される観光ルートとなるよう、「トカプチめぐり券」を発行いたしました。十勝中央部の見どころをぜひお楽しみください。

ばんえい十勝 特別入場券 通常1000円のところ 1名観覧料で入場

スイーツ 券 スイーツ 券 フード・ドリンク 券 フード・ドリンク 券 利用サービス 券 利用サービス 券

お問い合わせ：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
 〒080-0010 帯広市西3条南9丁目 電話：0155-25-7121（月～金9:00～17:00 土日祝休業）e-mail: info@occi.or.jp

No. 000000 Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
 実施期間：平成22年 7月10日（土）～ 9月30日（木）
トカプチめぐり券
 十勝中央部の見どころ＆おいしいものをいっぺんに楽しもう♪
 お得な割引チケット バんえい十勝・入場料サービス スイーツ2品サービス
 フード・ドリンク2品サービス 施設利用2件サービス
 ■上記利用のみ有効 ■写真はイメージです。■賞品の抽選無効。また、共通券の返金はいたしません。
 ■対象のスイーツ・フードが売り切れの場合は他の商品になる場合があります。ご了承ください。
 ■販売時間等は各施設へお問い合わせください。
合計9つのサービスが受けられて 1,500円

【参加企業・団体】

- 柳月スイートピアガーデン
- とち物産センター
- まきばの家
- 手造り菓子の店こばやし
- 北の屋台
- 豊頃物産直売所（豊頃商工会）
- 新嵐山荘
- 真鍋庭園
- 紫竹ガーデン
- 百年記念館
- 十勝川温泉旅館組合
- まくべついちご園（ホープランド）
- ボーヤ・ファーム
- ばんえい十勝

トカプチめぐり券

Tokapuchi 「食」と「遊」で大地をつなぐ
 十勝シーニックバイウェイ
 トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

TP - 2

活動名：とかち癒とりフェスタ事業

【概 要】

「とかち癒とりフェスタ（通称：癒とりスタ）」は、地域の資源（観光・環境・健康）を「癒し」というキーワードで束ね、秋口の3ヶ月間をメインとして集客型の販路開拓および普及をおこなう活動である。地元住民が地元の魅力を再認識し、来訪者に対して「ライフコンシェルジュ」として十勝の暮らしぶりをお伝えすることが「究極の癒し」ととらえ、「人が人を癒す」おもてなしスタイルを構築することを最大の目的として実施。トカプチ雄大空間は実行委員会の一員として先導的に事業を行った。

【日 時】平成22年9月～12月（以下の主な事業の実施期間）

【場 所】帯広市を中心に各事業を実施

【主 催】帯広商工会議所とかち癒とりフェスタ実行委員会（トカプチ雄大空間が中心となり実施）

【参加人数】全体事業で延べ100人以上

【主な事業内容】

- ・ ライフコンシェルジュの育成とおもてなしの実践（コアイベント、サブイベント）
- ・ ホームページの開設、ガイドブックの発行、「じゃらん」への広告掲載
- ・ コアイベントの開催（とかちを巡るBDFシャトルバス運行、MYとかち見本市、とかち観光情報コーナー）
- ・ サブイベントの開催（観光・環境・健康をめぐるサイクリング周遊、とかち観光情報コーナー）
- ・ 癒とりフェスタ開会式（キックオフ会）十勝観光滞在型・体験プロモーション（招聘事業）



公式ホームページ



ライフコンシェルジュ



シャトルバス運行



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

TP - 3

活動名：トカプチスタンプラリーの実施 ～十勝の冬を楽しもう！～

【概要】 冬期における、十勝シーニックバイウェイトカプチ雄大空間のルートをつなぐ観光施策の一助として、ロングランのスタンプラリーを実施した。期間中、各施設をご利用（有料）またはお買い上げいただいたお客様に、パンフレット内のスタンプシートにスタンプを押してもらう。スタンプ数に応じて、抽選で50名にプレゼント。

【日時】 2010年12月15日（水）～2011年3月31日（木）

【場所】 トカプチ雄大空間ルート内

【主催】 トカプチ雄大空間

【参加人数】 約30人



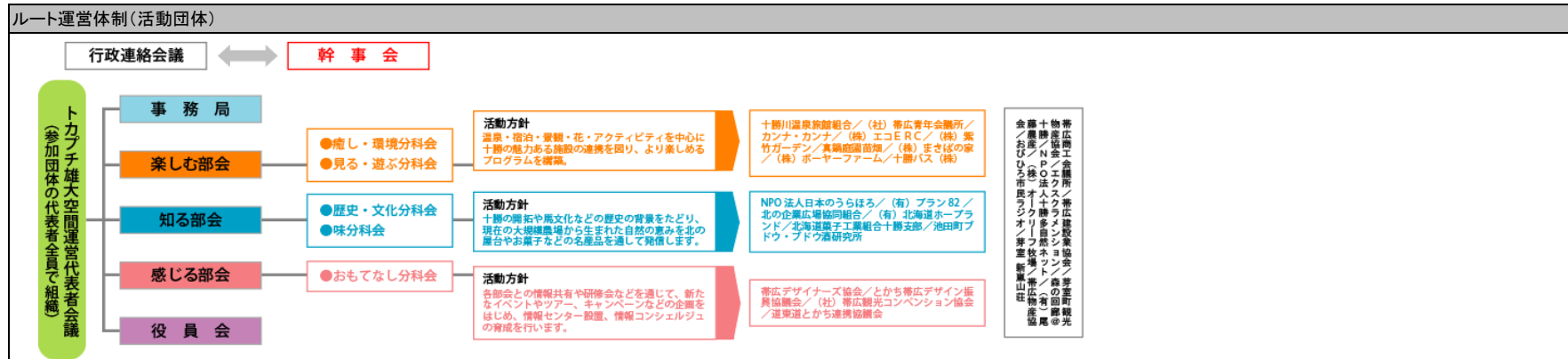
スタンプラリー帳

- 実施箇所：
スタンプは施設ごとに用意
- スタンプシート：
開いてA3サイズ、畳んでA4サイズ3ツ折サイズ
＝10,000部発行
- スタンプシート配布先：
登録施設及び帯広空港、エスタ2階観光案内コーナー、道の駅、道東自動車道十勝平原サービスエリア等を予定。
- リリース：
FM-WINGでの案内、プレスリリース（道新、勝毎、NHK 他）

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート代表 野村 文吾	報告年月: 2011/3/31
---------------------------------	---------------------------------------	-----------------

活動団体
十勝川温泉旅館組合、(社)帯広青年会議所、カンナ・カンナ、(株)エコERC、(株)紫竹ガーデン、真鍋庭園苗畑、(株)まきばの家、(株)ボーヤファーム、十勝バス(株)、NPO法人日本のうらほろ、(有)プラン82、北の企業広場協同組合、(有)北海道ホーブランド、北海道菓子工業組合十勝支部、池田ブドウ・ブドウ酒研究所、帯広デザイナーズ協会、とかち帯広デザイン協会、(社)帯広観光コンベンション協会、道東とかち連携協議会、帯広商工会議所、帯広建設業協会(地域振興対策委員会)、芽室観光物産協会、エクスクラメンション、森の回廊@十勝、NPO法人十勝太自然ネット、(有)尾藤農産、(株)オークリーフ牧場、帯広物産協会、帯広市民ラジオ、とかちむら(株)、十勝ヒルズ、芽室 新嵐山荘



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議	● 4/21		● 6/2	● 7/7			● 10/4		● 12/3	● 1/26		● 3/23	
	事務局・幹事会 打合せ	原則、毎週水曜日に開催。(水曜日に開催できない場合は、振り替え)												
	3ルート連携代表者会議		●4/14		●7/7					●12/17				

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者: 帯広開発建設部	報告年月: 2011/3/31
---------------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施			● 6/16								● 2/1		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間			報告者:帯広開発建設部		報告年月:2011/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを實踐し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業(トカプチミステリーツアー)	平成22年11月23日	帯広開発建設部	活動に参加することで、ライフコンシェルジュの育成方法や魅力あるモデルルート設定に対し、共通認識を高めることができた。課題は、道央圏の観光客を招致する、より具体的なプラン作りとなる。	十勝シーニックバイウェイはもとより、シーニックバイウェイ全体の取り組み、PRのために、ルートと行政が連携した取り組みは今後必要である。	2
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	十勝シーニックバイウェイ共通補助標識の検討	平成22年12月～2月	帯広開発建設部	道路利用者に対して案内機能の向上を目的とし、景観及び地域資源の保全に配慮しながら、十勝シーニックバイウェイ共通の補助標識(本標識の補足)設置を検討した。3ルートでの案内場所、設置場所、デザインなどの検討を行い、今後、検討しながら設置を進めていくこととしている。設置希望箇所が国道以外もあるため、今後は関係機関で連携しながら進めていくこととしている。	十勝シーニックバイウェイはもとより、シーニックバイウェイ全体の取り組み、PRのために、ルートと行政が連携した取り組みは今後必要である。	11
		イエローリボンプロジェクト	平成22年8月17日 平成22年11月17日	帯広開発建設部ほか各自治体	行政連絡会議構成員が積極的に、実施箇所検討及び種植えに参加することが出来た。課題は、さらなる実施箇所検討及び参加となるが、子供の参加を増やすようなPRを検討する。	十勝シーニックバイウェイはもとより、シーニックバイウェイ全体の取り組み、PRのために、ルートと行政が連携した取り組みは今後必要である。	10
地域づくり	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	月間スケジュール表の共有化	平成22年7月～平成23年3月	帯広開発建設部	3ルート活動の情報一元化及び定期的な共有(メール)が出来た。課題は、ルート情報のみをメール共有化したため、各自治体の情報・要望を広く配信する。	十勝シーニックバイウェイはもとより、シーニックバイウェイ全体の取り組み、PRのために、ルートと行政が連携した取り組みは今後必要である。	12

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月:2011/3/31
-----------------------------	------------------------------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
(ルート指定時の推進協議会からの意見) ○景観資源・地域資源の優位性 ・自然や環境と共生する十勝で育まれ、ホスピタリティに溢れた「人」とそのライフスタイルこそ大切な資源であり、移住や二地域居住等も含む「様々な交流」を促す取組みに繋げていくこと。 ・「寒く、明るい冬」を観光資源として、冬のアクティビティに積極的に活用する。 ・市街地の景観改善に向けて、行政や企業等と幅広く連携した取組を行う。 ○地域の魅力向上、ルートのブランド化 ・「食と癒し」をどう表現するかを追求しながら、隣接ルートとの緊密な連携と当ルート独自のブランド力の向上を進める。 ・女性及び若い世代など幅広い市民を積極的に巻き込むことや産学官民の取組の試行。 ・情報発信やプロモーションについて、隣接ルートとも連携し、さらにダイナミックで先駆的な取組を目指す。	○景観資源・地域資源の優位性 ホスピタリティに溢れた「人」を育むため、今年度実施した「とかち癒とリフェスタ」などの事業を通じて、ライフコンシェルジュの育成に着手しました。今後も、ライフコンシェルジュの育成とおもてなしの実践を積極的に実施していく予定であり、移住や二地域居住等、様々な交流促進に繋げていきたいと考えている。 更に、冬の観光資源を活用するため、冬にトカプチスタンプラリーを実施しており、これらの活動についてについては、次年度以降も充実させていきたいと考えている。 また、市街地等の景観改善に向けた取り組みについては、看板、標識等について行政等と連携して実施していきたいと考えている。 ○地域の魅力向上、ルートのブランド化 来訪者に対して、十勝の暮らしぶりをお伝えすることが「究極の癒し」と考え、ライフコンシェルジュによる「人が人を癒す」おもてなしスタイルを構築するため、ライフコンシェルジュの育成行っています。今後は、女性など市民をより積極的に巻き込みながらライフコンシェルジュに関する取組を進め、トカプチ雄大空間独自の「癒し」を提供すると共に、地域の魅力向上を図りたいと考えている。 情報発信等については、QRコードスタンプラリーなど、他ルートにはない取組を始めましたが、これらが効果的に機能するよう、自治体等とも連携し、活動を充実させていきたいと考えている。 また、地域の魅力を体感していただくためのモデルルートを設定しましたが、今後は、1時間コース、3時間コースなど、短い時間での周遊も可能なルート設定をし、多様なニーズに合ったモデルルートを提供できるように検討したいと考えている。	

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2011/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
(ルート指定時の推進協議会からの意見) ○景観資源・地域資源の優位性 ・自然や環境と共生する十勝で育まれ、ホスピタリティに溢れた「人」とそのライフスタイルこそ大切な資源であり、移住や二地域居住等も含む「様々な交流」を促す取組みに繋げていくこと。 ・「寒く、明るい冬」を観光資源として、冬のアクティビティに積極的に活用する。 ・市街地の景観改善に向けて、行政や企業等と幅広く連携した取組を行う。 ○地域の魅力向上、ルートのブランド化 ・「食と癒し」をどう表現するかを追求しながら、隣接ルートとの緊密な連携と当ルート独自のブランド力の向上を進める。 ・女性及び若い世代など幅広い市民を積極的に巻き込むことや産学官民の取組の試行。 ・情報発信やプロモーションについて、隣接ルートとも連携し、さらにダイナミックで先駆的な取組を目指す。	○景観資源・地域資源の優位性 十勝シーニックバイウェイ共通補助標識設置案を策定し、優位性向上を図っている。今後の設置に期待する。 ○地域の魅力向上、ルートのブランド化 女性を中心とした部会を立ち上げ、コンシェルジュ育成においても女性目線での細かな気配りを意識しながら取り組んでいる。また、隣接ルートの大雪・富良野ルート、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイとの連携も行い、これらの今後展開にも期待する。	